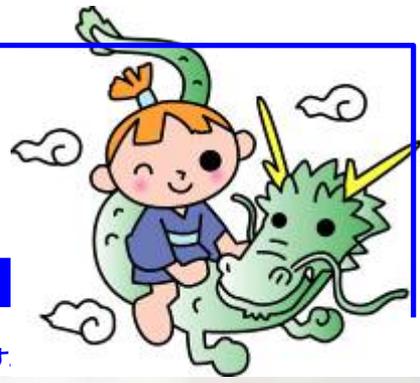


ダムの風だより



国土交通省大町ダム

大町ダムのキャラクター、犀龍と小太郎

“ダムの風だより”は国土交通省
大町ダム管理所が発行する広報誌です。

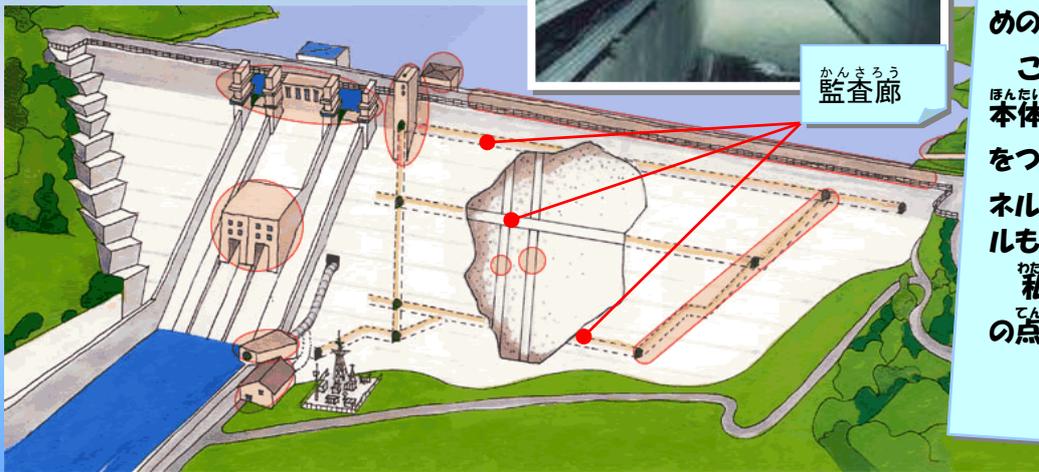
洪水時や渇水時に しっかりはたらくために

前回までは大町ダムの仕事を紹介して
きました。今回は普段あまり知られるこ
とがない「ダムの裏側」の仕事の話です。
ダムは、いつでもきちんと「安全に働く」
ことがとても大切です。
皆さんの家にある自動車もきちんと動く
よう点検をするのと同じように、ダムに
も点検が必要です。ダムはとても大きい
ので点検をする所がたくさんあります。
今回はその中のほんの一部を紹介しま
しょう。



かんさうろ
監査廊

① ダム本体



ダムは大きなコンクリートとたくさんの
機械で作られています。ダムを動かすため
の機械はもちろん、ダム本体を点検するた
めの機械もいろいろあります。

これらの機械が置いてある部屋は、ダム
本体のあちこちにあるので、これらの部屋
をつなぐために「監査廊」という小さなトン
ネルや階段が、ダム本体の中に何百メー
トルもはめぐらされています。

私たちはこの監査廊を通して、大町ダム
の点検を効率よく行っています。

② 機械



機械の点検をしているところ

ダム本体には、ゲートという大きな水門がいくつもあり、これらを開け閉めすることで、ダムから水を出したり止めたりしています。ゲートは鉄で出来ていてとても重たいので、電気と機械の力でゲートを動かしています。普通の機械は部品が一つでも壊れると動かなくなってしまいます。大町ダムの機械は大丈夫なのでしょうか？

飛行機は、エンジンが一つ止まっても飛び続けられるように作られています。実はダムも同じように、いくつか部品が壊れてもゲートが開け閉めできるように作られているのです。さらに、これらたくさんの部品が壊れないように点検をして、安全を確保しています。

上流の川からダムに入ってくる水の量を計算する。ダムからどのくらいの水の量を流すか決める。決めた水の量を流すため、ゲートを開く幅を計算する。ゲートを開ける操作ボタンを押す。ゲートが動作している最中に、設備に異常が起きていないか監視する。

ダムを運転するためには、こんなにやる事がたくさんあります。これらの作業を助けてくれるコンピュータがダムにはあります。

このコンピュータのおかげで、短時間で正確にダムを運転することができます。このコンピュータも定期的に点検を行い、正常に動作するようにメンテナンスをしています。



③ コンピュータ



コンピュータの点検をしているところ

④ 電気



発電機の点検をしているところ

ダムの機械やコンピュータは電気で動かします。では、停電したらダムは運転できなくなるのでしょうか？いいえ、停電してもダムは運転できます。実は大町ダムには大きな発電機があって、停電になると自分で電気をつくることができます。この発電機もきちんと点検をしています。

大町ダムホームページで新年のカレンダーをゲット！

2011年度版の「大町ダム特製カレンダー」が、ホームページからダウンロードできます。大町ダムの1年の景色をこのカレンダーに詰め込みました！本年もよろしくお願ひします。

クリック

大町ダム

検索

洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしています。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平字ナロラ大クボ 2112-71 TEL. 0261-22-4511 (代) FAX. 0261-22-4512

http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/